

ゼロカーボンシティの実現に向けた目標

2050年目標

ゼロカーボンシティの実現
(温室効果ガス排出量ゼロ)



ゼロカーボンシティ実現に向けた2030年目標

温室効果ガス排出量を**55パーセント削減**

- 省エネルギー対策
- **再生可能エネルギー導入拡大**
- 移動の脱炭素化
- 資源循環、吸収源対策 など

市役所本庁舎の再生可能エネルギー100パーセント電力導入

■ 実施内容

市役所本庁舎で使用している電力を**再生可能エネルギー100パーセント電力**に切り替え

■ 導入日

2022年10月1日（土）

■ 目的

ゼロカーボンシティの実現に向けた、**再生可能エネルギー電力の利用拡大および普及促進**

ゼロカーボン・ドライブ

- 電気自動車の導入
市役所本庁舎の公用車として
初めて電気自動車 (EV) を1台導入
(2022年12月中)



- ゼロカーボン・ドライブの推進
再生可能エネルギー100パーセント電力とEVの
活用により、走行時の二酸化炭素排出量をゼロに
する**ゼロカーボン・ドライブ**を実践

●市役所本庁舎における再生可能エネルギー100 パーセント電力の導入について

札幌市では、2021 年 3 月に「札幌市気候変動対策行動計画」を策定し、2050 年にゼロカーボンシティを実現することとし、その達成に向けて、2030 年までに温室効果ガス排出量を半減させることを目標としております。

このたび、目標の達成に向けて、10 月 1 日より、市有施設の中でも特に象徴的な市役所本庁舎において、再生可能エネルギー100 パーセント電力を導入いたします。

本市が率先して再生可能エネルギー電力の利用拡大に取り組むことにより、多くの市民・企業の皆さまによる取り組みが拡大していくことを期待しています。

1 事業名

RE100 化モデル事業

2 背景・目的

2050 年のゼロカーボンシティの実現に向けては、2030 年までに温室効果ガス排出量を半減させる必要があることから、電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合を市内では 50 パーセント、市有施設では 80 パーセントまで引き上げることを目標として設定している。そのような中、札幌市が率先して取り組むことにより、市民・企業の皆さまによる再生可能エネルギー電力の利用拡大につなげる。

3 導入日

2022 年 10 月 1 日（土）

4 実施場所

札幌市役所本庁舎（中央区北 1 条西 2 丁目）

5 事業概要

(1) 内容

市役所本庁舎で使用する電力を、再生可能エネルギー100 パーセント電力に切り替える。

(2) 札幌市役所の年間電力消費量

約 264 万 kWh

(3) 想定二酸化炭素削減量

約 1,450t-CO₂/年

(4) 電力契約先

北海道ガス株式会社

6 その他の取り組み

市役所本庁舎への再生可能エネルギー100 パーセント電力導入に併せて、市役所本庁舎の公用車としては初となる電気自動車 (EV) を 1 台導入 (2022 年 12 月中) し、再生可能エネルギー100 パーセント電力と EV をセットで活用することにより、走行時の二酸化炭素排出量をゼロにする「ゼロカーボン・ドライブ」を実践する。

【問い合わせ先】

(札幌市役所本庁舎の電力切り替えについて)

環境局環境都市推進部環境エネルギー課 高松・稲辺

電話：211-2872、ファクス：218-5108

(札幌市役所本庁舎の電気自動車の導入について)

環境局環境都市推進部環境政策課 東館・林

電話：211-2877、ファクス：218-5108